

1 教育経営グループ組織

	小学校		中学校	
グループ主任	野村 智明	名寄 東小		
副主任	赤澤 静恵	風連 中央小		
	小林 勝彦	中名 寄小		
研究主任	桑原 久美	名寄 南小		
副主任	三戸 孝之	智恵 文小	中村 公暢	名寄 東中
	大熊 隆子	名寄 東小		
委員	林 琢磨	名寄 小	佐藤 誠	名寄 中
	久保 康徳	名寄 南小	畠 雅義	名寄 東中
	中谷 健太	名寄 東小	米田 真	智恵 文中
	大橋 毅士	名寄 西小	森 憲児	風連 中
	須藤 仁志	風連 中央小		
	萬城目 久美子	智恵 文小		
	久保 稔	中名 寄小		

2 研究内容

	研究項目	分担
学校経営の充実	1 市内共通モデルの学校経営計画の検証・充実	グループ主任・副主任
	2 社会に開かれた教育課程の実現に向けた研修 ① 新学習指導要領への対応 ② 学年経営案の検証と改善 ③ 先進校、先行実践等についての資料収集，研究紹介，視察等 ④ 小中連携の推進 ・総合的な学習の時間等教育課程の連携 ・学習・生活のきまり，家庭学習等の連携 ・校務支援システムに係る研修	研究主任(桑原) 全委員 研究副主任(三戸) 全委員 研究副主任(大熊) 全委員  研究副主任(中村) 全委員
	3 教師の資質能力の向上 *各種指定事業の取組の推進と交流 ・学校力向上に関する総合実践事業 ・オリパラ教育推進事業	指定校の発表や説明（地域連携研修），市教研大会をもって代える。
学級経営の充実	4 学校経営計画と連動した学年経営案の検証と改善～2-②「学年経営案の検証」に同じ	

### 3 今年度の活動経過

年	月	日	主な内容	備考	
元	4	25	□第1回教育改善プロジェクト委員会 ●第1回研究グループ会議 (今年度の研究内容・計画, 役割分担等について確認)	名寄庁舎4階大会議室	
	5	22	□第2回教育改善プロジェクト委員会 ●第2回研究グループ会議 (推進計画, 研究内容の具体化等について協議) *新学習指導要領への対応について(今後の取組) *学年経営案の検証と改善(ML会議との連携内容) *先進校資料収集について(今後の取組) *小中連携の推進について(実践事例の検討)	名寄庁舎4階大会議室 ①～④グループ	
	6		●グループ研究内容・推進計画等の各学校及び他グループへの発信, 連携		
		12	・ミドルリーダー研修 (1)小中接続における教育課程での明確にすべき点について (2)スズキ校務の活用状況の交流 (3)名寄版学年経営案について	名寄南小 ④グループ  ②グループ	
	7	22	・ミドルリーダー研修 (1)先進校, 先行実践等についての資料収集について (2)学習におけるきまりについて (3)通知表について	名寄南小 ③グループ ①グループ	
	9	11	・学校経営計画についての見直し話し合い	名寄東小	
		30	・視察研修案内	③グループ	
	10	23	・ミドルリーダー研修 (1)次年度教育課程編成について (2)学年経営案について	名寄南小 ①グループ ②グループ	
	11	6	・視察研修(旭川市立旭川小学校, 旭川中学校)	③④グループ	
		18	○名寄市教育研究大会	名寄小, 名寄東中	
	12	10	□第3回教育改善プロジェクト委員会 ・各研究グループの研究の成果と課題 ・教育研究集会における発表内容の精査 ●第3回研究グループ会議(次年度の方向検討)	文化センター ①～④グループ	
	12	20	・ミドルリーダー研修 (1)外国語・外国語活動の評価について (2)次年度新教育課程作成の進捗状況について	名寄南小 ①グループ	
	2	1	28	名寄市教育研究集会 EN-RAYホール	

## 4 今年度の活動

### (1) 市内共通モデルの学校経営計画の検証・充実

資料1, 2

- 1) 市内共通モデルの実践と成果・課題の明確化
- 2) 育成すべき資質・能力「三つの柱」の学校経営計画への反映
- 3) 改善案の検討
- 4) 「市内共通モデル学校経営計画に関わる『作成と運用』」の新規作成

### (2) 新学習指導要領への対応

- 1) 経緯と今後の流れ
  - 6月 教科書展示会
  - 10月 ミドルリーダー会議（年間指導計画作成のポイント研修）
  - 12月 上教研 年間指導計画 完成  
各校 年間指導計画・評価規準作成提案  
ミドルリーダー会議（外国語評価の学習会）
  - 2月 ミドルリーダー会議（進捗状況確認，課題への解決策）
  - 3月 年間指導計画・評価規準完成予定

### (3) 学年経営案の検証と改善

資料3

- 1) 市共通の学年経営案モデル活用の交流
- 2) 市内共通モデルを実践しての成果と課題の明確化
- 3) 課題についての改善策を検討・提示

### (4) 先進校、先行実践等についての資料収集、研究紹介、視察等

資料4

- 1) 9月 視察研修場所の決定
- 2) 11月 視察研修実施
  - ① 日時 令和元年11月6日（水）
  - ② 研修先 旭川市立旭川小学校 旭川市立旭川中学校
  - ③ 参加者 名寄市教育改善プロジェクト委員会 名寄市小中学校教職員
  - ④ 日程 13:20 公開授業 小6・中1 特別活動「児童生徒交流会」  
14:30 全体会（研究発表・質疑応答）

### (5) ミドルリーダー研修（小学校・中学校合同）

\*名寄南小を会場に，各小中学校の主幹教諭，教務主任等が集まり実施

\*今日的課題に対応した情報交流や学習会を推進

- 1) 6月，7月，10月，12月
  - ①小中接続における教育課程での明確にすべき点
  - ②学習におけるきまりについて
  - ③名寄版学年経営案について
  - ④先進校，先行実践等についての資料収集について
  - ⑤スズキ校務の活用状況
  - ⑥通知表について
  - ⑦次年度教育課程作成について

- ⑧年度の重点教育目標を実現する学年経営案の活用の在り方について
- ⑨外国語・外国語活動の評価について（小学校対象，東中英語教員指導）
- 2) 今後の予定について
  - ①年間指導計画・評価規準作成における課題について
  - ②スズキ校務と指導要録作成について

## （6）小中連携の推進

資料5, 6, 7

- 1) 先進校の事例紹介（東神楽町 外国語・外国語活動，武蔵村 学級活動）
- 2) 先進校視察（旭川市立旭川小学校 旭川市立旭川中学校）
- 3) 市内小中学校の家庭学習の取組の一覧作成
- 4) 学習におけるきまりの一覧作成
- 5) 総合的な学習の時間カリキュラムの連携

## 5 成果と課題

### 【成果】

- 本市共通の学校経営計画モデルにおいて「本校で育成を目指す資質・能力」を明確にすることを具体化した。各校で本モデルを活用した学校経営計画が作成・活用されることにより，育成を目指す資質・能力を教職員・保護者・地域で共有しながら教育活動の充実を図ることが期待できる。
- 本市共通の学年経営案モデル（今年度から全小中学校で利用）の検証と改善においては，各校の取組状況の交流を通して本モデル活用の成果と課題を洗い出すことができた。さらに，その評価を踏まえ，次年度に向けて，各校の特色を生かすことができるよう改訂版を作成することができた。
- ミドルリーダー研修会においては，各校の取組の交流，各種研修会参加の環流報告などを通して，各校で中核を担う教員の資質向上に資することができた。また，新学習指導要領全面実施に向け教育課程編成に関わる研修を実施することができた。
- 小中連携の先進校視察として，旭川小・旭川中学校の教育実践発表会に参加し，本市においても参考となる実践事例を収集することができた。また，本実践発表会に関わる資料を各校に配付し，研修成果を還流することができた。

### 【課題】

- ▲本市共通の「学校経営計画」「学年経営案」モデル運用による各校の成果を交流・共有する機会を設定すること。
- ▲ミドルリーダー研修会において，社会に開かれた教育課程を実現するカリキュラム・マネジメント推進に関わる研修の機会を設定すること。特に，中学校新学習指導要領の全面実施に向け，小中の円滑な接続を推進する研修を実施すること。
- ▲令和元年度までに，市内の全ての小中学校で学校運営協議会が設定された。各運営協議会の取組の交流を通して，地域とともにある学校づくりを一層推進すること。